

詩 23:1 「主は私の羊飼い。私は、乏しいことがありません。」【新改訳】

イスラエルに旅行した時に、山羊(ヤギ)の群れと羊の群れを見ました。山羊は山羊飼いによって、羊は羊飼いによって養われていたのですが、その飼い方は全く違っていました。山羊は自主性があるといいますか、リーダーシップを持つ親分山羊があり、その山羊が先頭となって群れを引き連れ、餌となる草や飲み水へと導きます。山羊飼いは群れの後ろを歩き、安全かどうかを眺めています。羊の場合は全く逆で、羊飼いが先頭に立ってリードしないとフラフラ迷ってどっかへ行っちゃう。それは羊の性質ということ、それから奥行きなどに対する視力の弱さなどが影響しているようです。

更にユダヤの地とは、日本の青々とした草原のイメージとは全く逆で、赤茶けた岩山がひたすら続く厳しい荒野。良い羊飼いでなければ、羊に草や水を与えることは出来ないのです。そう、イエス様は私の羊飼い、緑の草と豊かな水を与え、敵の只中で宴会を開くことも出来るお方！

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。私は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けていた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2018年5月20日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大きいなるものは、愛である。
Iコリント13:13

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

